

【漁業者委員】

番号	区分	推薦を受けた者（被推薦者）						推薦した者：個人の場合（推薦者）				推薦した者：団体の場合（推薦者）							
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況			氏名	年齢	性別	職業	団体等名称	団体の目的	代表者の役職・氏名	構成員		推薦理由
							従事年数	主な漁業種類	漁業者又は漁業従事者であるかの別								構成員の人数	構成員たる資格	
1	漁業者	今泉 浩一	60歳	男	漁業	H22～現在 R3.4～現在 R4～現在 いわき市漁業協同組合 総代 福島海区漁業調整委員会委員 福島県機船底曳網漁業組合連合会 理事	45年	底曳網 船曳網 刺し網	漁業者である		-		福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の 漁業協同組合	今泉浩一氏は、小型機船船曳網漁業、機船船びき網漁業を主として、45年余り漁業に従事し、現在、いわき市漁協総代（勿来地区）、福島県機船底曳網漁業組合連合会理事としても活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に本格操業へ向けて、茨城県との入会協議の再開に意欲を見せており、地区でのとりまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので推薦いたします。	
2	漁業者	狩野 一男	72歳	男	漁業	H9.5～H15.9 H25.6～R4.5 R3.4～現在 R4.6～現在 磯部漁業協同組合 監事 相馬双葉漁業協同組合 理事 福島海区漁業調整委員会委員 相馬双葉漁業協同組合 磯部地区代表	51年	機船船曳網 かご漁業	漁業者である		-		福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の 漁業協同組合	狩野一男氏は、機船船曳網漁業やかご漁業を主として、51年余り漁業に従事し、現在は相馬双葉漁業協同組合磯部地区代表として、また第22期福島海区漁業調整委員会委員として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に試験操業から通常操業への移行を目指すため、地区での取りまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので推薦致します。	
3	漁業者	今野 智光	66歳	男	漁業	H28.6～R1.5 R1.6～現在 R3.4～現在 R4.6～現在 R5.5～現在 相馬双葉漁業協同組合 理事 相馬双葉漁業協同組合 相馬原釜地区代表代理 福島海区漁業調整委員会会長 相馬双葉漁業協同組合 代表理事組合長 全国海区漁業調整委員会連合会 会長	49年	固定式刺網 機船船曳網 沖合たこかご	漁業者である		-		福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の 漁業協同組合	今野智光氏は、固定式さし網漁業や機船船曳網漁業を主として、49年余り漁業に従事し、地区での取りまとめ役として人望も厚く、現在は相馬双葉漁業協同組合代表理事組合長として、また第22期福島海区漁業調整委員会会長、全国海区漁業調整委員会連合会会長として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に試験操業から通常操業への移行を目指すため、本県漁業の復興に尽力されており、本県漁業者の代表として適任であるので推薦致します。	
4	漁業者	平 仁一	69歳	男	漁業	H9.6～H12.5 H12.6～H15.9 H15.10～R4.5 R3.4～現在 R4.6～現在 鹿島漁業協同組合 監事 鹿島漁業協同組合 代表監事 相馬双葉漁業協同組合 理事 福島海区漁業調整委員会委員 相馬双葉漁業協同組合 鹿島地区代表	50年	固定式さし網 機船船曳網	漁業者である		-		福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の 漁業協同組合	平仁一氏は、固定式さし網漁業や機船船曳網漁業を主として、50年余り漁業に従事し、現在は相馬双葉漁業協同組合鹿島地区代表として、また第22期福島海区漁業調整委員会委員として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に試験操業から通常操業への移行を目指すため、宮城県との入会協議の再開に意欲を見せており、地区での取りまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので推薦いたします。	

番号	区分	推薦を受けた者（被推薦者）						推薦した者：個人の場合（推薦者）				推薦した者：団体の場合（推薦者）							
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況			氏名	年齢	性別	職業	団体等名称	団体の目的	代表者の役職・氏名	構成員		推薦理由
							従事年数	主な漁業種類	漁業者又は漁業従事者であるかの別								構成員の人数	構成員たる資格	
5	漁業者	永瀬 哲浩	59歳	男	漁業	H16～H25 いわき市漁業協同組合 総代 H25～R1 いわき市漁業協同組合 監事 R1～現在 いわき市漁業協同組合 理事 R3.4～現在 福島海区漁業調整委員会委員	40年	船曳網	漁業者である					福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の漁業協同組合	永瀬哲浩氏は機船船びき網漁業を主として、40年余り漁業に従事し、いわき市漁協総代(江名町地区)、監事を歴任し、現在、理事として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に、本格操業に向けて地区でのとりまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので推薦いたします。
6	漁業者	久田 要一	59歳	男	漁業	H28.6～現在 相馬双葉漁業協同組合 理事	37年	海苔養殖業 あさり養殖業	漁業者である					福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の漁業協同組合	久田要一氏は、海苔養殖業、あさり養殖業を主として37年余り漁業に従事し、現在は相馬双葉漁業協同組合理事(松川浦地区)として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に試験操業から通常操業への移行を目指すため、宮城県との入会協議の再開に意欲を見せており、地区での取りまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので推薦致します。
7	漁業者	森田 政利	66歳	男	漁業	H16.6～H25.5 相馬双葉漁業協同組合 理事 H25.6～H27.3 相馬双葉漁業協同組合 請戸支所長代理 H27.4～現在 相馬双葉漁業協同組合 請戸地区代表代理 R3.4～現在 福島海区漁業調整委員会委員	45年	固定式刺網 機船船曳網 一本釣	漁業者である					福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の漁業協同組合	森田政利氏は、さし網漁業や機船船曳網漁業を主として、45年余り漁業に従事し、現在は相馬双葉漁業協同組合請戸地区代表代理として、また第22期福島海区漁業調整委員会委員として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に福島第一原発のある双葉郡の漁業復活に強い意欲をもって尽力されており、試験操業から通常操業への移行を目指すため、地区での取りまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので推薦致します。
8	漁業者	吉田 康男	57歳	男	漁業	H22～H29 福島県漁業協同組合 青壮年部連絡協議会 会長 H19年度～現在 いわき市漁業協同組合 総代 H28～現在 久之浜採鮑組合 組合長 R3.4～現在 福島海区漁業調整委員会委員	38年	採鮑漁業 船曳網漁業	漁業者である					福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の漁業協同組合	吉田康男氏は採鮑漁業、機船船びき網漁業を主として、38年余り漁業に従事し、県漁協青壮年部連絡協議会会長を歴任した。現在、いわき市漁協総代(久之浜地区)、久之浜採鮑組合組合長として活躍している。地域の信頼度も非常に高く、特に、本格操業に向けて地区でのとりまとめ役として人望も厚く、本県漁業者の代表として適任であるので推薦いたします。

番号	区分	推薦を受けた者（被推薦者）						推薦した者：個人の場合（推薦者）				推薦した者：団体の場合（推薦者）								
		氏名	年齢	性別	職業	経歴		漁業経営状況			氏名	年齢	性別	職業	団体等名称	団体の目的	代表者の 役職・氏名	構成員		推薦理由
						従事年数	主な 漁業種類	漁業者又は 漁業従事者であるかの別	従事年数	主な 漁業種類								漁業者又は 漁業従事者であるかの別	構成員の人数	
9	漁業者	渡邊 登	72歳	男	漁業	H5.8～H15.9 H15.10～H27.3 H27.4～現在 R3.4～現在	新地漁業協同組合 監事 相馬双葉漁業協同組合 新地支所長代理 相馬双葉漁業協同組合 新地地区代表代理 福島海区漁業調整委員会委員	47年	固定式刺網 機船船曳網 さし網流し網	漁業者である				福島県漁業協同 組合連合会	会員が協同して 経済活動を行い、 所属員の漁業の生 産能率の向上等そ の事業の振興を図 り、もって所属員 の経済的社会的地 位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	県内の 漁業協同組合	渡邊登氏は、固定式さし網漁業や機船 船曳網漁業を主として、47年余り漁業 に従事し、現在は相馬双葉漁業協同組 合新地地区代表代理として、また第22 期福島海区漁業調整委員会委員として 活躍している。地域の信頼度も非常に 高く、特に試験操業から通常操業への 移行を目指すため、宮城県との入会協 議の再開に意欲を見せており、地区で の取りまとめ役として人望も厚く、本 県漁業者の代表として適任であるので 推薦致します。	

【学識経験委員】

番号	区分	推薦を受けた者（被推薦者）						推薦した者：個人の場合（推薦者）				推薦した者：団体の場合（推薦者）					
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	専門分野 又は資格等	氏名	年齢	性別	職業	団体等名称	団体の目的	代表者の 役職・氏名	構成員		推薦理由
															構成員		
														構成員の人数			
1	学識経験委員	宮崎 奈穂	52歳	女	大学教員	H13～現在 東京海洋大学学術研究院 海洋環境科学部門・助教	海洋環境	-	-	-	-	国立大学法人 東京海洋大学	大学の教育研究に対する国民の要請にこたえとともに、我が国の高等教育及び学術研究の水準の向上と均衡ある発展を図るため、国立大学を設置して教育研究を行うこと。	学長 井関 俊夫	476人	前任者である川辺みどり教授からのご推薦として、第23期の任期は令和7年4月1日～令和11年3月31日の4年間、福島海区漁業調整委員会委員として水面を総合的に利用し、漁業生産力の発展と民主化を図るために宮崎奈穂助教を推薦する。	
2	学識経験委員	鈴木 哲二	68歳	男	団体役員	H24.4～H25.9 福島県漁業協同組合連合会 参事 H25.9～H26.6 福島県漁業協同組合連合会 常務理事 H26.6～現在 福島県漁業協同組合連合会 専務理事 R3.4～現在 福島海区漁業調整委員会委員	漁業経営	-	-	-	-	福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能力の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	鈴木哲二氏は、現在、当連合会専務理事として、本県水産業の振興発展に尽力している。特に、東日本大震災で被災した本県水産業の復旧復興のため、試験操業から通常操業への移行に向けて鋭意検討しており、更に、がんばる漁業の活用により漁業経営の体質強化を図るなど、本県漁業の再生に精力的に取り組んでいる。また、原発事故による風評で失われた本県水産物の常設販売棚を取り戻すため、本県水産物の販路・流通拡大に取り組んでおり、その豊富な知識と経験は、委員として適任であるので推薦いたします。	
3	学識経験委員	鈴木 由美子	64歳	女	-	H27.4～現在 いわき市漁業協同組合女性部 久之浜支部 支部長 H28.8～現在 福島県漁協女性部連絡協議会 副会長 R3.11～現在 福島県水産業振興審議会 委員	漁業経営	-	-	-	-	福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能力の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	鈴木由美子氏は、地元女性部活動を通じて漁食普及活動を長らく牽引してきた。特に東日本大震災及び福島第一原発事故からの浜の復興、風評払拭イベントにも意欲的に取り組んでおり、現在は福島県漁協女性部連絡協議会副会長及び福島県水産業振興審議会の委員として県内水産業の復興、発展に尽力している。 各浜の漁協女性組織からの信頼も厚く、その豊富な経験と知識は、委員として適任であるので推薦いたします。	
4	学識経験委員	渡邊 千夏子	57歳	女	自然科学 研究機構 国立天文台 水沢 VLBI観測 所事務支 援員	H4.4～ 水産庁中央水産研究所 生物生態部資源生態研究室 研究員 H27.4～H30.3 水産研究・教育機構 中央水産研究所 資源管理研究センター 資源評価グループ グループ長 H31.4～R2.7 水産研究・教育機構 中央水産研究所 資源研究センター 主幹研究員 R2.7～R5.3 水産研究・教育機構 水産資源研究所 浮魚資源部浮魚第2グループ 主幹研究員 R3.4～現在 福島海区漁業調整委員会委員 R5.9～ 自然科学研究機構国立天文台 水沢VLBI観測所事務支援員	資源評価	-	-	-	-	福島県漁業協同組合連合会	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能力の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	代表理事会長 野崎 哲	正会員 7会員	被推薦者は水産庁及び政府所管の水産試験研究機関において31年にわたり、日本の太平洋側海域における漁業資源の調査や評価を実施するとともに、学術論文も数多く公表してきた。マサバなどの漁業資源評価の専門家として、関係する資源管理指針や方策に関する知見も豊富に有している。 これまでも、福島海区漁業調整委員会委員として、資源管理の観点から、生態に関して有益な質問等をするなど知見を発揮されている。 以上の業務経験と専門知識を活用することで、福島海区における資源管理計画や措置に関する答申・指示の作成への大きな貢献が期待できることから、委員候補として推薦する。	

【中立委員】

番号	区分	推薦を受けた者（被推薦者）								推薦した者：個人の場合（推薦者）				推薦した者：団体の場合（推薦者）					
		氏名	年齢	性別	職業	経歴		漁業経営状況		氏名	年齢	性別	職業	団体等名称	団体の目的	代表者の役職・氏名	構成員		推薦理由
						従事年数	主な漁業種類	構成員の人数	構成員たる資格										
1	中立委員	宮下 朋子	42歳	女	弁護士	H20.12～H25.7 H25.11～現在 R3.4～現在	検察庁にて勤務 弁護士 福島海区漁業調整委員会委員	-	-	-	-	-	-	福島県弁護士会	本会と支部管内に事務所を有する弁護士及び弁護士法人との連絡調整	会長 鈴木 靖裕	208人	会員	適正な能力があるため。
2	中立委員	氏居 俊夫	74歳	男	-	R5.4～現在	福島県消費者団体連絡協議会 理事	-	-	-	-	-	福島県消費者団体連絡協議会	消費者の利益と増進に資することを目的として活動する。	高野 イキ子	100人	理事	<ul style="list-style-type: none"> ・氏居さんは、福島県消費者団体連絡協議会の構成団体のひとつである郡山消費者力の会の代表（会長）です。 ・福島県消費者団体連絡協議会に加盟して約2年になります。郡山消費者力の会は、福島県消費生活課の主催する「消費者力養成講座」を受講した（約4年間）方々により設立された会です。この講座は1年間に10回開催され、消費者問題を学習し、さまざまなスキルを身に付けてきたので、知識を身に付け、判断する力を持っています。 ・福島県消費者団体連絡協議会に加盟後、研修に参加、調査活動にも一緒に参画しています。推薦するにあたり、活動を一生懸命される方だと思います。 	